

「ささいな情報でも教えて」

「順子地蔵」の前で手を合わせる小林賢二さん(9日、葛飾区柴又で)

葛飾区柴又で1996年9月、上智大4年の小林順子さん(当時21歳)が自宅で殺害された事件は9日、未解決のまま発生から26年を迎えた。

父親の賢二さん(76)は9日午前、現場の自宅跡地に建てた「順子地蔵」に線香をあげ、静かに手を合わせて容疑者の逮捕を願った。賢二さんは「貴重な情報は埋もれているはず。ささいな情報でも勇気を持って教えてほしい」と話し、亀有署員

上智大生殺害26年

父ら 柴又駅でチラシ



10人とともに最寄りの京成電鉄柴又駅でチラシを配って情報提供を呼びかけた。警視庁によると、現場か

ら採取された血痕から、容疑者は血液型A型の男とわかっていて。事件当時、現場付近の路上では身長1.6

50〜1.60くらいの黄土色のコートを着た不審な男も目撃されている。

情報提供は亀有署特別捜査本部(03・3607・0110)へ。